

## 「財務応援Ai 支払・入金・手形」機能アップ版 概要 (Ver.1.2)

「財務応援Ai 支払管理」「財務応援Ai 入金管理」「財務応援Ai 手形管理」Ver.1.2で予定されている対応内容についてご案内致します。

尚、商品リリースの際、機能等が若干変更される可能性がありますので、予めご了承ください。

### 1. データの利用について

#### バージョンアップの対象バージョン・・・Ver.1.0以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

#### ●バージョンアップ後、データのコンバートが必要です

「財務応援Ai 支払管理」「財務応援Ai 入金管理」「財務応援Ai 手形管理」の場合、プログラムを Ver1.2 にバージョンアップしても、データは自動的に Ver.1.2用にコンバートされません。

プログラムをバージョンアップ後、「データ・コンバートプログラム」で従来のデータを Ver.1.2用へコンバートする必要があります。（「データ・コンバートプログラム」でコンバートするデータを選択後、<OK>を押すだけの簡単な作業です。）

手順の詳細は、バージョンアップ商品に同梱される冊子「バージョンアップのご案内」をご参照ください。

#### ●従来バージョンとデータの互換性はありません

「財務応援Ai 支払管理」「財務応援Ai 入金管理」「財務応援Ai 手形管理」Ver.1.2のデータは、従来バージョンのデータと互換性はありません。（バックアップ/リストアでやり取りすることはできません）

上記、「データ・コンバートプログラム」で従来のデータを Ver.1.2用にコンバートされたデータは、Ver.1.2より前のバージョンがインストールされている PC に戻すことはできません。

#### ●支払管理・入金管理・手形管理を併用される場合の注意点

「財務応援Ai 支払管理」「財務応援Ai 入金管理」「財務応援Ai 手形管理」を併用している場合は、データ連携のため、すべてのシステムを最新バージョン（Ver.1.2）にする必要があります。

### 2. システムの対応内容

#### ●取引先のグループ管理機能の追加（支払管理）

同一の支払先に対して「翌月払い」「翌々月払い」など複数の支払条件がある場合に、支払条件を別々の取引先として登録しておき、それらをグループ管理することで、まとめて支払の管理を行えるようにします。

#### ●銀行マスターの更新（支払管理・入金管理・手形管理）

銀行マスターを、三菱東京UFJ銀行等を含む2006年1月現在の銀行マスターに更新するためのプログラムを製品 CD-ROM 内に収録します。製品 CD-ROM 内の「銀行マスターコンバート」フォルダにある COMMONDB.EXE を実行して、銀行マスターを更新してください。

#### ご注意：

- ・銀行マスターはプログラムのバージョンアップでは更新されません。プログラムのバージョンアップ後、上記「銀行マスターコンバート」フォルダにある COMMONDB.EXE を実行して、銀行マスターを更新してください。
- ・銀行マスター更新用プログラムを使って銀行マスターを更新すると、お客様が設定された銀行マスターの内容は失われます。更新後に必ず銀行マスターの見直しを行ってください。

#### ●会社データバックアップ/リストア画面の「バックアップ領域」に<初期値に戻す>ボタンを追加（支払管理・入金管理・手形管理）

会社データバックアップ画面や会社データリストア画面の「バックアップ領域」に<初期値に戻す>ボタンを追加します。このボタンを押すと、バックアップ領域を変更した場合でも初期値に戻すことができます。

### 3. 連動可能な会計システムのバージョン

「財務応援 Ai 支払管理」「財務応援 Ai 入金管理」「財務応援 Ai 手形管理」 Ver.1.2と連動可能な会計システム（企業会計／公益法人／社会福祉法人／医療会計）は次のとおりです。会計システムは、最新バージョンとの組み合わせのみを動作保証とします。

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| ・財務応援 Ai 企業会計     | Ver.1.2   |
| ・財務応援 Ai 公益法人会計   | Ver.2.1 ※ |
| ・財務応援 Ai 社会福祉法人会計 | Ver.1.2   |
| ・財務応援 Ai 医療会計     | Ver.1.0   |

※ 2006年3月下旬リリース予定。

### 4. 動作環境

「財務応援 Ai 支払管理」「財務応援 Ai 入金管理」「財務応援 Ai 手形管理」の動作環境は、連動している会計システム（企業会計／公益法人会計／社会福祉法人会計／医療会計）の動作環境に準じます。

〈参考：会計システム（企業会計／公益法人会計／社会福祉法人会計／医療会計）の動作環境〉

使用環境	スタンドアロン	3ユーザー版以上のネットワーク版	
	2ユーザー版、ランチ	クライアント	サーバ (*5)
OS	Windows®XP/Windows®2000Professional(*1)	Windows®2000Server Windows Server™ 2003	
メモリ	128MB 以上	256MB 以上	
CPU	お使いのOSが推奨する環境以上		
データベース (*2)	MSDE 容量制限 2GB	SQL-Server2000 SP3 (*3)	
HDD (*4)	空き容量 500MB 以上	空き容量 500MB 以上	空き容量 1GB 以上
ディスプレイ	解像度:1024×768ドット(小さいフォント)以上 ※WindowsXPの場合は標準フォント 表示色:high Color(16Bit)以上		
ブラウザ (*5)	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以上		
バックアップ装置	DATドライブを推奨 (*7)		
プリンタ	上記の対応 OS で使用可能な A3 対応レーザープリンタ (ポストスクリプト対応プリンタは除きます。)		

(\*1)：Windows®98はサーバが Windows Server™ 2003以外の場合で、2ユーザー版以上のクライアント PC で使用可能です。

(\*2)：Microsoft SQL Server（または MSDE）はバンドル版です。バンドル版は財務応援 Ai 以外で使うことができません。

(\*3)：財務応援 Ai 公益法人会計 Ver.2.0の新規版をご購入されて継続利用されている場合は、SQL-Server 2000 SP4となります。

(\*4)：管理ファイル(登録データ)の容量は除きます。

(\*5)：対象ブラウザがセットアップされていないと、財務応援 Ai をインストールすることができません。

(\*6)：サーバの基本ソフトが Windows Server 2003の場合は、サーバにおける操作を、財務共通処理の〈データベース管理〉および〈ライセンス設定〉に限定させていただきます。

Windows 2000 Server の場合は、SP3以上になっている必要があります。

(\*7)：バックアップに十分な容量であれば、基本ソフトで使用可能なその他の装置でも構いません。